

<第3四半期決算 補足説明資料>

2 0 2 0 年 3 月 期

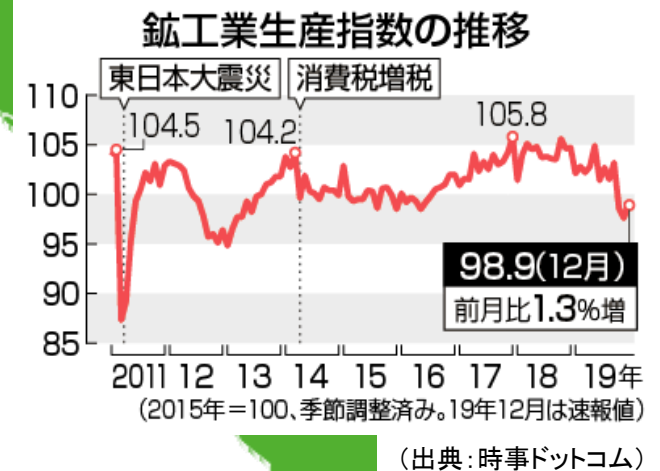
第 3 四 半 期 決 算 概 要

2020年2月12日

 日本タングステン株式会社

経済環境

- ・国内は設備投資に一部回復の兆しが見られるものの、消費税増税、米中貿易摩擦の長期化により生産や消費が減少
- ・海外における設備投資の鈍化傾向もあり、製造業を中心に景況感は悪化し、先行きは不透明な状況で推移



■ 当社グループの業績等

● 損益の状況(連結)

(単位:百万円)

	2019年3月期 第3四半期	2020年3月期 第3四半期	対前年同四半期比 増減額 (増減率)
売上高	9,509	8,790	△719 (△7.6%)
営業利益	908	490	△417 (△46.0%)
経常利益	1,039	654	△385 (△37.1%)
親会社株主に帰属 する四半期純利益	751	479	△272 (△36.2%)

《当第3四半期の概況》

・機械部品事業

売上は前期好調の海外向けダイカッターが顧客の設備投資抑制等により低調に推移し、損益も悪化

・電機部品事業

売上はほぼ横ばいも、EV用接点・抵抗溶接用電極の増収、及びタングステンワイヤー素材製造ライン縮小とOEM化に伴う自社製素材の在庫の増加等により増益

・全体では減収・減益

● 財務の状況(連結)

(単位:百万円)

	2019年 3月期 期末	2020年 3月期 第3四半期	前連結会計 年度末比 増減額
総資産	16,392	16,539	146
負債	6,370	6,236	△133
純資産	10,022	10,303	280

《当第3四半期末の概況》

・総資産:前期末比、146百万円増加

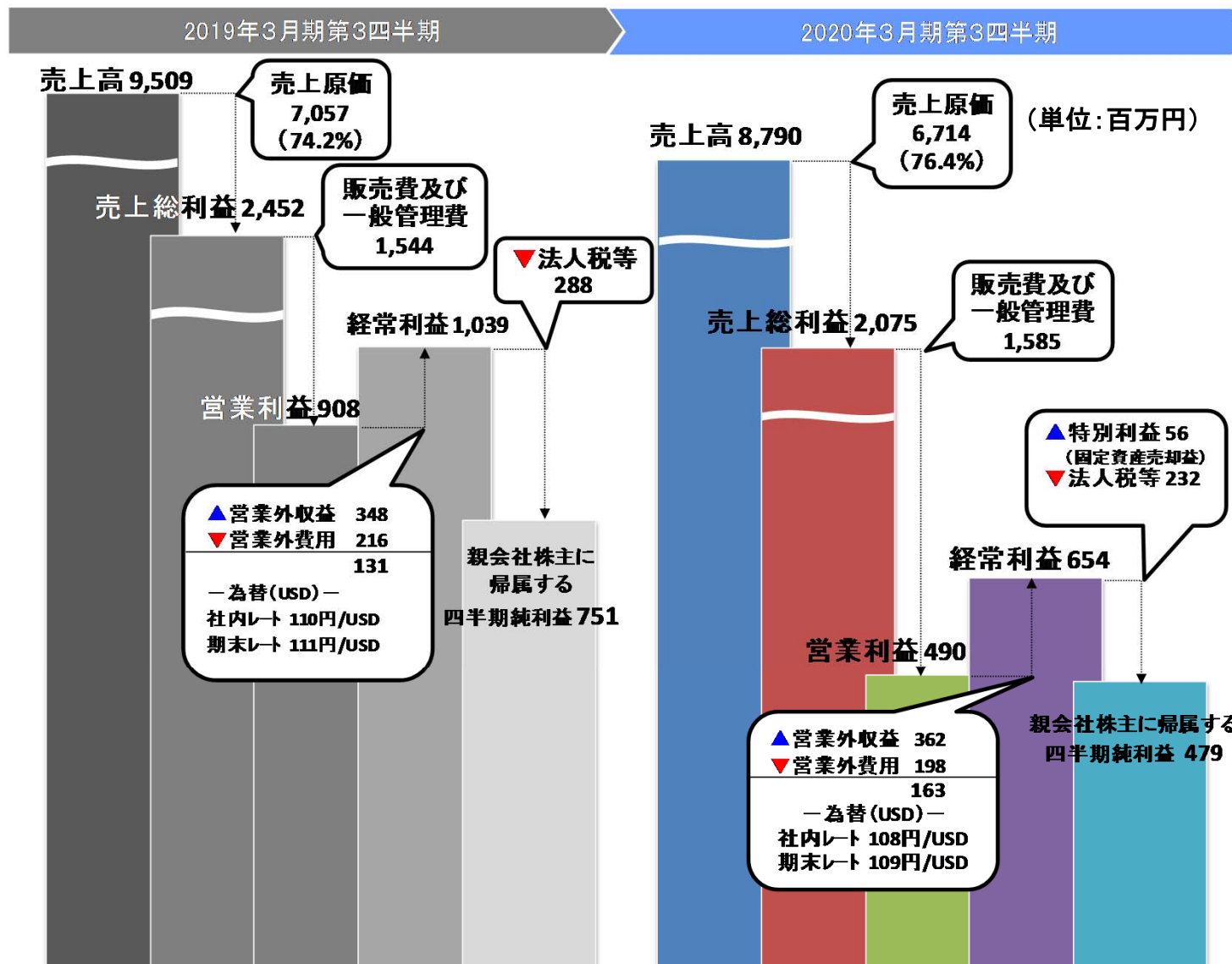
(流動資産は減少、固定資産は増加)

・負債:前期末比、133百万円減少

(流動負債は減少、固定負債は増加)

・純資産:前期末比、280百万円増加

■ 損益の概況(連結)



項目	要因
売上総利益	売上高の減少により減益
営業利益	採算管理の強化及び生産効率の向上等による原価低減策に継続して取り組むも、売上高の減少が響き、減益
経常利益	賃貸不動産の計画修繕に伴う費用が減少するも、営業利益の減少により減益
親会社株主に帰属する当期純利益	遊休地の売却による特別利益を計上するも営業利益等の減少により減益

■ 事業部別売上高の状況

2020年3月期第3四半期 セグメント別売上高

機械部品事業

4,865
55%
(58%)

超硬合金
製品



セラミック
製品



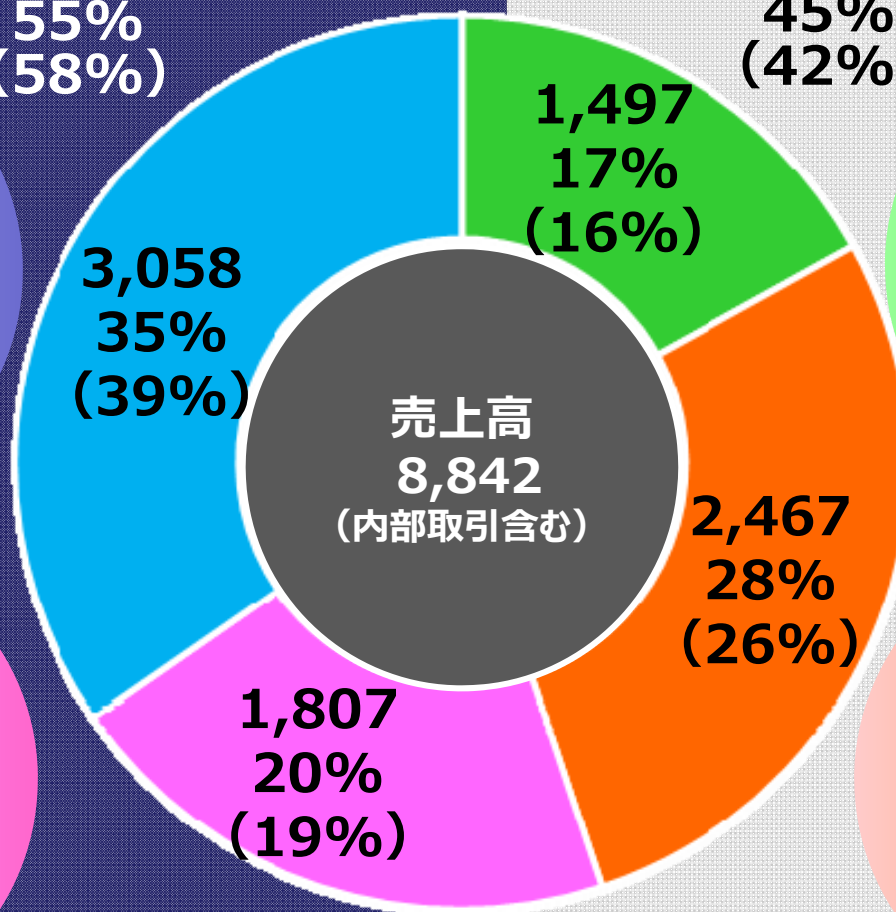
電機部品事業

3,964
45%
(42%)

金属材料
製品



電気・電子
材料製品



単位：百万円

() は前年同四半期の占有比率

■ 事業部別主要製品の状況

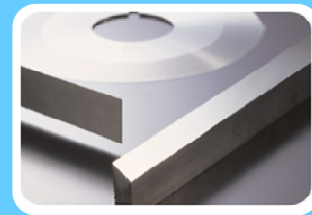
機械部品事業



情報機器関連のハードディスクドライブ(HDD)用磁気ヘッド基板
・堅調に推移



衛生用品関連のNTダイカッター
・海外向けが顧客の設備投資の抑制等により大きく減収



液晶関連の治工具製品
・中国市場の需要減により減収

	2019年3月期第3四半期	2020年3月期第3四半期	対前年四半期比
売上高 (百万円)	5,498	4,865	△632 (△11.5%)
営業利益 (百万円)	911	353	△557 (△61.2%)

※売上高はセグメント間の取引を含んでおり、営業利益は全社費用等調整前の金額

■ 事業部別主要製品の状況

電機部品事業



自動車関連のEV用接点及び抵抗溶接用電極

- ・電気自動車市場の拡大を受け増収



タングステンワイヤー製品

- ・車載用がLED化の伸展により減収
- ・素材ラインの縮小とOEM化に伴う自社製素材の在庫増加により増益



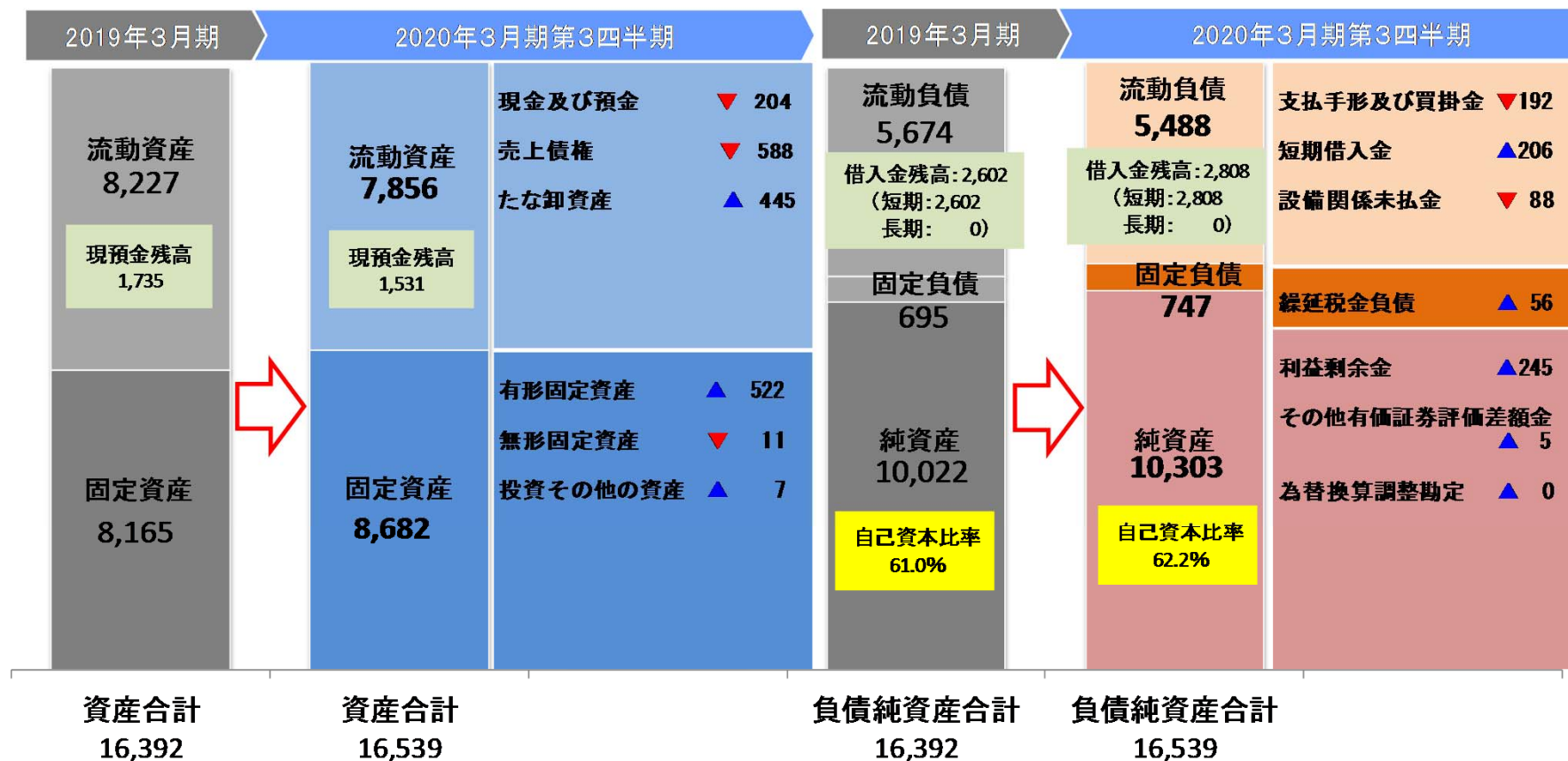
	2019年3月期第3四半期	2020年3月期第3四半期	対前年四半期比
売上高 (百万円)	4,046	3,964	△81 (△2.0%)
営業利益 (百万円)	400	563	163 (41.0%)

※売上高はセグメント間の取引を含んでおり、営業利益は全社費用等調整前の金額

財務の状況(連結)

(単位:百万円)

科目	2019年3月期 期末	2020年3月期 第3四半期	前連結会計年度末比 増減額
総資産	16,392	16,539	146
負債	6,370	6,236	△133
純資産	10,022	10,303	280



■業績予想の修正について

- ・2020年3月期の通期連結業績は、売上高の増加に加え、主に海外子会社の業績が想定上回る見通しとなったため、2019年12月19日に公表した業績予想を売上高、利益ともに修正する
- ・第4四半期の業績は、中国子会社の事業構造改善費用の発生等を含め、低調に推移する見込み

2020年3月期通期連結業績予想値の修正(2019年4月1日～2020年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	11,200	370	510	490	201.36
今回修正予想 (B)	11,400	500	690	610	250.48
増減額 (B - A)	200	130	180	120	
増減率 (%)	1.8	35.1	35.3	24.5	
(ご参考)前期実績 (2019年3月期)	12,651	1,029	1,105	831	342.80

感染が拡大している新型コロナウイルスの当社業績へ与える影響については、現時点で予測が困難であり、今回の業績予想には織り込んでいない。今後の動向により、業績予想の修正が必要となった場合には、速やかに開示する。

資本効率の向上をはかり、株主への一層の利益還元を行うことを目的として、自己株式の取得を実施

自己株式取得の内容

- | | |
|----------------|--|
| (1) 取得する株式の種類 | 当社普通株式 |
| (2) 取得する株式の総数 | 100,000株(上限)
(発行済株式総数(自己株式を除く)に対する割合 4.10%) |
| (3) 株式の取得価額の総額 | 240,000,000円(上限) |
| (4) 取得する期間 | 2020年2月13日から2020年8月31日 |
| (5) 取得方法 | ①東京証券取引所における市場買付け
②自己株式立会外買付取引(ToSTNeT-3)による買付け |

(ご参考)

2020年1月31日時点の自己株式の保有状況

- ・発行済株式総数(自己株式を除く) 2,438,947株
- ・自己株式数 138,813株

■ご注意

本資料は情報提供を目的とするものであり、当社株式の購入や売却を勧誘するものではありません。

また、掲載されている情報は、現時点で入手可能な情報に基づき、当社が独自に予測したものであり、リスクや不確定な要素を含んでおります。

従いまして、見通しの達成を保証するものではありません。当社の内部要因や当社を取り巻く事業環境の変化等の外部要因が直接または間接的に当社の業績に影響を与え、本資料に記載した見通しが変わる可能性があることをご承知おきください。

投資に関する最終的な決定は、利用者ご自身の判断でなさるようお願いいたします。